

## 平成 27 年度 学生による授業評価結果報告

1 の「学修内容のレベルは適切でしたか」という項目について、「適切」と回答した割合が前期 75.2 パーセント、後期 75.6 パーセントと、七割以上が評価しており、本学の学芸員課程の授業内容はおおむね期待通りの水準にあると考えられます。また、8 の「教員は授業に対して意欲的だったと思いますか」という項目について、前期と後期とも八割以上が「そう思う」「ややそう思う」と回答しており、各教員の授業への真摯な取り組みが評価されていると考えられます。しかし、4 の「学生の理解度を確認しながら授業が進められていましたか」という項目については、「どちらともいえない」「あまり思わない」が前期と後期ともに四割以上の回答となっており、授業の理解から取り残された履修学生が存在した実態が浮かび上がってきました。今後の改善が望まれます。6 の「教員の説明や黒板の使い方、書き方はわかりやすいものでしたか」については回答が分散していますが、「思わない」という回答が前期と後期に 7 パーセントあり、該当する教員の改善が望まれます。

問 2 の「あなたは」の項目は、履修学生についてですが、12 の「この授業への出席回数はどれくらいでしたか」という項目について出席率は非常に高く、履修学生の真摯な学修姿勢がうかがわれます。しかし、13 の「宿題・課題、予習・復習にかけた勉強量はどれくらいでしたか」という項目については、前期と後期ともに「30 分程度」「ほとんどしなかった」が七割ほどを占めており、これらは主に予習・復習の実態を反映したものと考えられ、履修に当たって学生に改めて留意していただきたい点です。

以 上